

躍動感あふれる清水裕友

令和6年能登半島地震復興支援競輪・大阪・関西万博協賛・前橋競輪場開設74周年記念「三山王冠争奪戦」は、6月1日〜4日の日程で開催される。今シリーズは清水裕友、深谷知広、佐藤慎太郎のSS班3名をはじめダービー王・平原康多、グランドスラム・新田祐大らの健脚が参戦。地元勢は小林泰正、佐々木悠葵らが一丸となって強豪を迎え撃つ。無風のドームバンクで繰り広げられるスピードバトルは目が離せない。また、最終日第9レースにて「レインボーカップA級ファイナル」が一発勝負で争われる。こちらにも注目だ。

ビッグレースで活躍している健脚がそろい、熾烈なV争い。狙いは絞りにくい、が、連の軸として最も信頼でき

るのは清水裕友だろう。今年は年頭から切れ味鋭いスピード、躍動感にあふれる攻撃的な走りを披露している。存在感を猛アピール。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。5月武雄記念は未勝利に終わったものの、3走で最終バックを取って、動いていた印象だ。自力勝負が基本ながら、町田太我との連係が叶うようなら前を任せよう。その町田は、相変わらずスケールの大きな先行で奮戦している。ダービーは予選を3、

4着で上位進出の望みを絶たれたものの、積極的に駆けていた。清水に前を任せられれば強気に攻める。主導権さえ握れば強じんな粘りを発揮しよう。

今年6年ぶりにSS班に返り咲いた深谷知広を重視する手もある。太いトルクが自慢のパワー先行で別線を圧倒するも、なかなか優勝には手が届かずにいたが、5月武雄記念では、今回も対峙する清水、浅井康太らを撃破してV。気分的にも乗っているはず。5月函館記念を準Vの松井宏佑、松谷秀幸の神奈川勢との連係から勝機を見出す。

関東勢はSS班こそ不在ながら、ダービー王に輝いた平原康多をはじめ小林泰正、佐々木悠葵の地元勢、ベテラン諸橋愛、自力攻撃冴える森田優弥ら充実のラインナップ。大将格の平原は、10年間維持したSS班を手放した。今年も1月大宮記念準V、4月西武園記念は決勝3着など、地元戦でもVを逃がすもどかしい場所が続いていたが、ダービーでは好展開をきっちりものにして、SS班復帰を決めた。地元両者も近況はいい。小林はダービーでビッグレース初優勝を果たすなど、

機動力に磨きがかかった印象だし、佐々木は5月武雄記念の初日特選は、快速まくりを繰り出して2着。動ける選手がそろっているの、好連係を決めれば関東勢から優勝が出る場面は大いにあろう。

佐藤慎太郎、新田祐大、菅田竜道と北日本勢も実力者がそろった。注目されるのは、先頭員早期追い抜きの失格を喫して、4カ月近く実戦を離れた新田の状態だ。全日本選抜では、初日特選をまくりで制すなど、スピードは折り紙付き。レース動に問題がないようなら、機動力を遺憾なく発揮し、好勝負に持ち込んでも不思議ではない。

ダークホースは浅井か。この大会は63、65周年を連覇している相性がいい。ダービーでは二次予選で勝ち星をゲット、5月武雄記念は決勝進出するなど、最近の動きも悪くない。ラインの目標が不在なら総力戦だが、中近スジの三谷竜生や窓場千加頼との連係も考えられそう。ウィナーズカップ①①①9着など大ブレイク中の窓場が先陣を務めるラインはかなり魅力的だ。



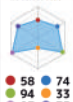
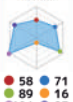
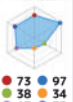
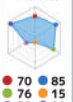
清水裕友



平原康多



深谷知広

主力選手プロフィール										直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地		期別	競走得点																							
 町田 太我 TAKA ICHIKAWA	神奈川	117期	111.75	 浅井 康太 ASAII KENTA	大阪	90期	114.23	 松井 宏佑 MATSUI HIROAKI	大阪	113期	115.36	 平原 康多 HIRAHARA RYOMA	大阪	41期	115.40	 小林 泰正 KOBAYASHI MASAHIRO	群馬	29期	112.71	 新田 祐大 ARIMURA KOKI	大阪	113期	117.33	 清水 裕友 SHIMIZU YUTA	大阪	29期	118.85	 深谷 知広 FUKAYA HIROSHI	大阪	34期	117.50	 佐藤 慎太郎 SONEOKA TARO	大阪	47期	114.77
117期 S1 111.75 110.21 110.04	90期 S1 114.23 113.73 113.76	113期 S1 114.36 115.25 113.63	87期 S1 115.40 114.53 114.40	113期 S1 112.71 108.56 112.08	90期 S1 117.33 114.13 116.20	105期 SS 118.85 116.07 118.22	96期 SS 117.50 115.73 116.60	78期 SS 114.77 117.64 113.97	選手能力値 ● 運動力 ● ダッシュ ● 差し脚 ● デンジャー ● 実績 ● ボタンドロ	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
									選手能力値 ● 運動力 ● ダッシュ ● 差し脚 ● デンジャー ● 実績 ● ボタンドロ	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
87 76 31 13 8 92	58 94 94 73 97 75	84 93 83 19 8 96	58 71 65 7 104 83	67 85 35 7 10 80	73 97 38 34 67 73	70 85 76 15 32 91	84 98 52 0 55 100	24 23 90 28 114 63	選手能力値 ● 運動力 ● ダッシュ ● 差し脚 ● デンジャー ● 実績 ● ボタンドロ	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
18 2 0 0 0	0 2 17 0	11 0 1 1	0 0 19 3 0	3 13 3 0	4 18 1 0	0 14 9 6 0	6 15 5 0 0	0 0 9 6 0	戦法別勝利数 上連対 中連対 下1着	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
									戦法別勝利数 上連対 中連対 下1着	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
出走 37 9 11 4 13	出走 39 16 6 13	出走 43 12 11 6 6	出走 43 13 10 5 15	出走 41 12 7 7 15	出走 45 16 7 4 18	出走 46 14 12 6 14	出走 46 12 5 15	出走 44 6 8 22	12場所勝利数 1着 2着 3着 他	直近4ヶ月 前期得点 今期得点																									
1月 出走 1 1月																																			

能登支援・万協 三山王冠争奪戦 出場予定選手									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	114.77	S2	松坂英司	神奈川	82期	97.62
SS	深谷知広	静岡	96期	117.50	S2	大塚英伸	静岡	82期	99.27
SS	清水裕友	山口	105期	118.85	S2	平沼由亮	福岡	83期	95.33
S1	香川雄介	香川	76期	109.27	S2	大野悟郎	大分	83期	97.28
S1	小林大介	群馬	79期	101.97	S2	大槻寛徳	宮城	85期	108.84
S1	諸橋愛	新潟	79期	111.65	S2	真崎新太郎	栃木	85期	101.14
S1	岡村潤	静岡	86期	108.93	S2	菅原真	大分	85期	101.18
S1	平原康多	埼玉	87期	115.40	S2	岡田征陽	東京	85期	99.81
S1	山賀雅仁	千葉	87期	105.75	S2	近藤俊明	神奈川	87期	99.28
S1	園田匠	福岡	87期	110.57	S2	三宅裕武	三重	88期	97.50
S1	柏野智典	岡山	88期	107.41	S2	松村友和	大阪	88期	104.81
S1	新田祐大	福岡	90期	117.33	S2	杉山悠也	秋田	89期	93.43
S1	浅井康太	三重	90期	114.23	S2	山本健也	千葉	89期	96.23
S1	小川勇介	福岡	90期	109.10	S2	池田勇人	埼玉	90期	101.88
S1	松岡貴久	熊本	90期	110.03	S2	池田憲昭	香川	90期	95.54
S1	菅田竜道	宮城	91期	111.75	S2	大西壮	愛媛	91期	97.05
S1	木暮安由	群馬	92期	103.00	S2	山田義彦	埼玉	92期	96.95
S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	108.96	S2	鈴木庸之	新潟	92期	106.44
S1	阿部大樹	埼玉	94期	105.00	S2	鷲田幸司	福井	92期	102.58
S1	松谷秀幸	神奈川	96期	112.13	S2	戸田洋平	岡山	92期	101.24
S1	山下輝	山口	96期	103.24	S2	松尾信太郎	福岡	92期	100.70
S1	恩田淳平	群馬	100期	107.36	S2	連佛康浩	岡山	93期	96.80
S1	窓場千加頼	京都	100期	112.95	S2	真船圭一郎	福岡	94期	97.91
S1	三谷竜生	奈良	101期	111.40	S2	藤田勝也	和歌山	94期	104.70
S1	山岸佳太	茨城	107期	106.19	S2	渡辺正光	福岡	95期	97.80
S1	佐々木龍	神奈川	109期	108.93	S2	上原龍	長野	95期	95.68
S1	島川将貴	徳島	109期	109.37	S2	佐藤博紀	岩手	96期	104.65
S1	林大悟	福岡	109期	107.00	S2	棚橋勉	岡山	96期	99.27
S1	小森貴大	福岡	111期	102.39	S2	近藤夏樹	千葉	97期	96.50
S1	小林泰正	群馬	113期	112.71	S2	西岡拓朗	広島	97期	100.00
S1	山井宏佑	神奈川	113期	114.36	S2	田中陽平	熊本	97期	97.96
S1	松本秀之介	熊本	117期	106.84	S2	志村龍一	山梨	98期	98.63
S1	稲村成浩	群馬	69期	93.44	S2	角令央奈	福岡	98期	97.86
S1	渡邊晴智	静岡	73期	99.00	S2	泉慶輔	宮城	99期	99.36
S1	八谷誠賢	福岡	77期	96.30	S2	橋本智昭	宮城	99期	98.88
S1	八谷市屋浩之	石川	79期	97.90	S2	石川裕二	茨城	99期	100.70
					S2	竹内雄作	岐阜	99期	100.03
					S2	木村弘	青森	100期	98.16
					S2	保科千春	宮城	100期	101.38
					S2	太刀川一成	千葉	100期	96.19

※2024年05月19日現在のデータです。									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
S2	伊藤裕貴	三重	100期	105.36	A1	片折亮太	埼玉	92期	95.71
S2	伊代野貴照	奈良	101期	102.67	A1	加賀山洋	千葉	94期	94.76
S2	津村光次郎	福岡	101期	98.86	A1	高橋昇平	埼玉	99期	95.46
S2	大西貴晃	大分	101期	99.84	A1	照井拓成	岩手	115期	95.48
S2	磯島康祐	青森	105期	97.00	A1	城戸俊潔	岡山	115期	95.50
S2	築田一輝	静岡	107期	105.96	A1	安藤直希	京都	117期	93.85
S2	神山尚	栃木	109期	91.03	A1	安彦統賀	埼玉	121期	94.25
S2	吉川希望	石川	111期	91.96	A1	末廣快理	兵庫	121期	91.06
S2	藤原俊太郎	岡山	111期	96.95	A2	篠田幸希	群馬	123期	95.00
S2	久保田泰弘	山口	111期	104.85					
S2	川口雄太	徳島	111期	102.32					
S2	森田優弥	埼玉	113期	112.82					
S2	河合佑弥	東京	113期	100.73					
S2	中嶋宣成	長野	113期	99.80					
S2	中釜章成	大阪	113期	105.88					
S2	板垣昂	福岡	115期	101.19					
S2	寺沼伊織	東京	115期	92.08					
S2	山本修平	東京	115期	98.77					
S2	鈴木陸	静岡	117期	99.04					
S2	下井竜	三重	117期	97.58					
S2	村田瑞季	京都	117期	100.30					
S2	鈴木浩太	千葉	119期	98.73					
S2	近藤翔馬	愛媛	119期	94.28					
S2	谷口力也	熊本	119期	96.70					
S2	真鍋顕汰	三重	121期	99.33					
S2	村田祐樹	富山	121期	104.19					
S2	岸田剛	福井	121期	96.90					
S2	真鍋智寛	愛媛	121期	100.62					

島川 将貴 (徳島/109期)

F1戦とはいえ、昨年9V、今年も3Vの数字は伊達ではない。G3では4月高知記念、同月西武園記念、5月武雄記念と優参は成らずもいずれも3連対。そろそろ準決でも一発あるか。



村田 祐樹 (富山/121期)

ようやくS級の競走に慣れてきたのか、成績がまとまってきた。5月取手1②②着の決勝は、惜しくも4分の1輪差でS級初Vは逃がしたが、菊池岳のまくりを許さなかった先行は力強かった。



松岡 貴久 (熊本/90期)

自力は出さなくなったが、差し脚の伸びは申し分ない。4月川崎記念で決勝に乗ると、その後も同月伊東①①③着、5月宇都宮②①①着と好成績だ。上位戦でも好位置あれば連がらみが望める。



レインボーカップ A 級ファイナル

※2024年05月19日現在のデータです。

層が厚い、関東勢が優勢

主力選手プロフィール										直近4ヶ月 前期得点 今期得点	選手能力値 機動力 ダッシュ 差し脚 テンジャー 実速 ボテシヤル	戦法別勝利数 上連対 上2着 下1着
選手名	所属	期	順位	得点	能力値	勝利数	戦法	備考	備考			
篠田 幸希	徳島	123期	A2	95.00	82	101	1	1	1	10	20	0
城戸 俊潔	山梨	115期	A1	95.50	79	96	1	1	1	7	13	2
末廣 快理	山梨	121期	A1	91.06	76	84	1	1	1	10	10	1
安藤 直希	山梨	117期	A1	93.85	86	84	1	1	1	19	6	0
加賀山 淳	山梨	94期	A1	94.70	74	82	1	1	1	9	9	6
安彦 統賀	山梨	121期	A1	94.25	76	84	1	1	1	12	5	6
高橋 昇平	山梨	99期	A1	95.46	65	15	1	1	1	0	1	6
片折 亮太	山梨	92期	A1	95.71	79	91	1	1	1	9	8	10
照井 拓成	山梨	115期	A1	95.48	70	46	1	1	1	1	14	7

来期もA級予定の選手が5人もいて、地区的にも関東が3人、近畿が2人とそれぞれ連係するのが自然な選手に集中したので、これまで以上にラインの力が前面に出た戦いになりそう。中心は関東勢だ。地元の篠田幸希は5月20日からの青森MNで特進を決めて不在の可能性があるが、来期もA級予定の1人なので出走なら動向が注目される。ただ、それでも小細工せずに埼玉勢の前で積極策に出るとみるのが自然か。123期在籍3位のスター候補は、ハイスピードまくりを代名詞に、ルーキーチャンピオンを含めて今期5Vを果たしている。自身も3着以内に残れる距離を考えた上でロングスパートを決めてきそう。その場合は安彦統賀、片折亮太、高橋昇平の埼玉トリオにもビッグチャンス。安彦は来期S級だが、12月西武園では篠田の番手で地元優勝を飾っていて、これも勝機が巡れば逃さな



篠田 幸希



片折 亮太

い。もちろん、先行での連絡みは多いので、ラインの先頭で戦うことになっても問題は無い。そして、来期もA級の片折と高橋。降級13場所の時点で9Vの片折はA級最強の名をほしいままにしている。タテヨコ自在で、前を任せる若手がレースを作っていけば余裕を持って抜け出すか。高橋も連続優勝中と好調でゴール前の突っ込み十分。

安藤直希、末廣快理の2人も今期中にS級に上がって勝負したいだろう。ともに積極先行タイプながら、ここは単騎より折り合ってラインを組んだ方が戦いやすいのでは。調子が良い安藤が前でやるか。短走路なのと安藤の先行力を考えれば、関東勢ベースのレースを許さずに結果を出してもいい。末廣も当所は特直直後の昨年1月開催でいきなり優勝した好印象の走路なので侮れない。

地区単騎の城戸俊潔、照井拓成、加賀山淳は組み立て次第だろう。3人とも安定感が高く、モツれた時の一発は魅力的だ。